



自民党総裁選～麻生太郎候補を応援

自由民主党新総裁・総理に実現してほしい理念政策



8日 政策提言を記者会見で発表

平成 20 年 9 月 1 日福田総理が突然辞意を表明しました。保坂武代議員の励ます会、甲斐市長選挙の決起大会がアピオ甲府で開催されていた日でした。閉会后、最終電車で上京しようと甲府駅に向かう途中、同僚議員から連絡が入ります。福田総理が午後 9 時半から緊急記者会見をするらしい、と。しかも、内容は不明。すぐ東京の秘書に連絡し、情報収集を指示します。既知の記者に連絡を取ると、政治部は確認に大騒ぎとのこと。予期しない夜遅くの総理の記者会見となると、予想されるのは、北朝鮮への電撃訪問、来年度からの消費税増税、そして、まさかとは思いますが、

辞意表明です。最終電車に乗りながら、あれこれ考えていると、秘書から総理辞任との連絡が入ります。同時に報道速報も流れはじめました。福田総理が辞任！驚きとともに、「なぜ今？」と疑問がわきました。

福田総理の突然の辞意表明は、国民の皆様方から無責任だとの批判を浴びています。ただでさえ国民生活に不安要素が少なくない今、これからいったいどうなってしまうのだろうかと不安に思われた方はたくさんおられると思います。福田総理を支える与党の一員として、心よりお詫び申し上げます。ただ、福田総理は「政治家」としてのご判断をされたのだと、私はそう信じています。今はその判断理由がわからなくとも、いずれその意味がわかる 때가来る。長年、政治に携わってこられ、日本のリーダーたる総理を務めた方だからこそ見える先行きがきっとあるのだろうと。

9 月 10 日(水)からは、自民党総裁選挙が始まります。22 日(月)が投開票です。私は、同志 19 名（最終的に一人増えて 20 名）とともに自分なりの理念政策を総裁候補に提言し、その上で一番理念政策に近い候補を応援しよう決めました。8 日(月)から 9 日(火)にかけて、麻生太郎前幹事長、石破茂前防衛相、与謝野馨経済財政担当相、小池百合子元防衛相、石原伸晃元国交相の 5 人に直接会い、政策提言書を手渡し、意見交換をいたしました。その政策提言の内容は以下です。

▼自由民主党新総裁・総理に実現してほしい理念政策

政治姿勢 伝統と創造

戦後 63 年を経て日本は危機的な状況にあり、これを打破し新たな繁栄を続けるために、真の改革が求められている。先人たちは、国難に直面したとき明治維新がそうであったように、守るべき伝統を守りながら創造するという真の改革を断行して新しい日本を切り拓いてきた。

今回の突然の福田総理の辞意表明は、自民党の危機であると同時に、国家の危機でもある。危機のときこそ、自民党立党の精神に立ち戻り、誇るべき伝統と国家の品格を守りつつ、新たな日本を創造するために、「和を以って貴しとなし」「万機公論に決すべし」の精神で、固定概念にとわられることなく、自由かつ活発な議論を通じて物事の本質を理解し、ひたむきな情熱をもって道義大国日本を再建し、祖国の繁栄と世界の平和に寄与すべきである。

今回の総裁選挙にあたり、ぜひ新総裁・総理に次の実現を提言する。

国家目標 道義大国日本の実現

道義大国とは、倫理感が高く自由で民主的な国、国民が日本人であることに誇りを感じご皇室を中心とした日本の伝統と文化を世界に誇れる国、そして世界から頼りにされ、その道義心の強さで世界から尊敬

され世界の平和に貢献し、経済的に繁栄し、弱者に対するいたわりと思いやりにあふれ社会正義が貫かれる国である

基本方針 価値観の転換

道義大国実現のためには、利己主義、刹那主義、拝金主義を廃し、国家の土台である家族や地域社会を大切にし、道義と伝統、自主独立を重んじる価値観への転換が必要である。

提言1 市場原理主義からの脱却—日本型資本主義の実現

行き過ぎた市場原理主義を転換するために、経済財政諮問会議を廃止し、日本型経営を再生し、内需主導、地域間格差是正による経済の再生を図る。

提言2 国民皆保険制度、国民皆年金制度の安定化

制度の破綻を回避し、国民の不安を取り除くために、毎年一律の増額抑制を廃止し、福祉目的税の導入を検討する。

提言3 教育が日本再生の核

家庭内のしつけを大切にする家庭教育、日本人の心を取り戻す道徳教育、働く意義をしっかりと教える職業教育、地域共同体の再生による地域の教育力の向上を図る。

提言4 戦後体制からの脱却

占領下に制定された法整備制度の是正こそが真の主権国家である。そのために、憲法改正の発議準備をし、総理は靖国神社に参拝し、集団的自衛権を容認し、歴史教育の見直しを図る。

提言5 農林漁業立国を目指す—農業立国は地域再生の鍵

農業は国の基であり、強く自立した農業の確立のために、WTO・EPA等の農業交渉の戦略を強化し、農業所得の安定化、食料自給率の向上、生産調整の抜本的な見直しを図る。

提言6 無駄を廃し、将来世代に負担をまわさない

無駄を廃するために、国会議員の定数を削減し、国の出先機関や独立行政法人を整理統合廃止し、公務員の人件費削減を行い、その上で社会保障など不足財源を推計した上で増税議論をする。

提言7 自存自衛の外交防衛政策の確立

日米関係を外交の機軸としつつ、対米依存から自主防衛力を強化し、主権外交を推進する。北方領土や竹島の領土問題、尖閣諸島の領域問題、北朝鮮の拉致事案について、解決に全力を尽くす。そして、エネルギー自給に向けて、原子力政策の推進を図る。

▼一番理念政策が近い人「麻生太郎」候補を応援



10日(水)午前9時から同志が集まり、意見交換を致しました。結論、私は、提言した理念政策に一番近い候補として麻生太郎候補を応援することに決めました。どの候補も新しい自民党総裁、内閣総理大臣として相応しいと思います。しかしながら、地域経済が厳しい状況下で景気対策を断行し、社会保障費2200億円の増額抑制は限界がきている中でも生涯現役の高齢社会を実現し、国家の安全保障のためにはテロとの闘いに逃げず、日頃から靖国神社に参拝し、天皇陛下の靖国神社参拝を希望する方は、麻生太郎候補し

かないと思います。

ぜひ自民党党员の皆様には、麻生太郎候補に投票していただきたいと存じます。国民の方には、引続きご理解ご支援を何卒お願い申し上げます。

山梨1区事務所 〒400-0855 甲府市中小河原1-12-15 TEL055-244-1150 FAX055-244-1151

国会議員会館事務所 〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館733号

TEL03-3508-7343 FAX03-3508-3733 ホームページ <http://www.akaike.com>

衆議院議員 赤池 まさあき (山梨1区)